

環境振動設計指針策定 WG 2017 年度第 3 回 議事録 (案)

A. 日 時 2017 年 9 月 12 日 火曜日 17:30~20:00

B. 場 所 建築学会 304 会議室

C. 出席者 濱本主査 他 1 2 名

D. 提出資料

No. 17-3-0 環境振動設計指針策定 WG 2017 年度第 2 回議事録(案)

No. 17-3-1 自然振動源 SWG 資料

No. 17-3-2 内部人工振動源 SWG 資料

No. 17-3-3 外部人工振動源 SWG 資料

No. 17-3-4 環境振動計測 SWG 資料

E. 議事内容

1. 議事録(案)の確認 (資料 No. 17-3-0)

○議事録(案)は承認された。案をとって議事録とする。

○濱本主査より議事内容の補足説明があった。

・「評価指針」は「評価規準」に名称変更となった。

・シンポジウム検討 WG が 10 月 10 日 (火) に開催される。講演者には WG 幹事から直接連絡がいくので参加して欲しい。

2. 自然振動源 SWG からの報告 (資料 No. 17-3-1)

○設計指針の目次案について説明があり、意見交換が行われた。

・用語について:「荷重条件」は「入力条件」に変更する。

・各項・節のタイトルについては見直した方が良くもしいない。また、設計フローを前面に出した構成の方が良くもしいない。

→ 各項・節の内容がもう少し具体的になってから検討することとする。

○環境振動シンポジウムの発表内容について議論した。

・シンポジウムでは風振動の具体的な設計フローを示し、その中の主要な項目について説明することとする。

・発表者は西川委員の予定。本日欠席のため、原田が確認する。

3. 内部人工振動源 SWG からの報告 (資料 No. 17-3-2)

○環境振動シンポジウムの発表内容について説明があり、意見交換が行われた。

・シンポジウムでは設計指針の内容を提示する。発表者は佐伯委員。

→ 設計フローを中心とした構成にして欲しい。→ 原稿を書きながら検討する。

○設計指針の各章内容について説明があり、意見交換が行われた。

・用語について:「外力条件」は「入力条件」に変更する。

・減衰定数については、ここで示した値が独り歩きすることもあるため注意願いたい。

・設計例については、他の SWG と足並みを揃えるように調整して欲しい。

4. 外部人工振動源 SWG からの報告 (資料 No. 17-3-3)

○今後の実施事項と SWG 内での議論の内容について報告され、意見交換が行われた。

・SWG からの要望事項のひとつである“鉛直、水平の評価統一”については、評価指針改定小委員会でもその方向で検討している。不快感合や気になり具合の表現もできる限り揃えたいと考えている。

- ・性能マトリクスの縦軸は再現期間であり，本資料で述べられている対象期間とは異なるため注意願いたい。
 - ・入力地点については，地盤改良や防振壁などによる伝播経路（地盤）での振動対策も設計行為と考えられるため，敷地境界を基本としたい。
- シンポジウムでの発表内容について説明された。
- ・性能マトリクス，設計フローを作りこみ，シンポジウムで発表するようにしたい。発表者は上明戸委員。

5. 環境振動計測 SWG からの報告（資料 No. 17-3-4）

- 実建物における振動計測の概要が説明された。
- ・日本航空電子工業の昭島事業所内にある 7 階建て RC 造建築物の床振動を計測する。計測日は 10 月 18 日（水）。
→ SWG メンバー以外で参加を希望する方は，連絡すること。
- シンポジウムでの発表内容について確認した。
- ・設計における計測の重要性について，上記計測事例を交えて具体的に説明する。
 - ・発表者は未定（今のところ濱本主査の予定）。

6. その他

- 音響技術：環境振動特集号への執筆依頼について
- ・井上先生を通して当 WG へ執筆依頼があり，分担して対応することになった。
- 次回 WG 開催予定：2017 年 11 月 9 日（木）**16:00**～19:00
- ・環境振動シンポジウム原稿の進捗状況を確認する。

以上